

S Alma Mater 英知大学同窓会会報 Vol.18 Oct.10.2004

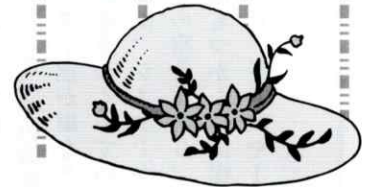
SAPIENTIA



発行：英知大学同窓会
〒661-8530
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1
発行責任者：和田 隆
編集：英知大学同窓会

- 同窓会会員の皆様へ……………1
- 品位と風格のある大学を目指して……………2
- 私の大学時代の思い出……………2
- SILEC UPDATE……………3
- 新しい文学部がスタート……………4
- 婆老心……………4
- 転換期を迎える就職課の役割と機能について……………5
- 「英知祭」に向けて……………5
- 実行委員長に大きな拍手を……………5
- ホームカミングデーへのお誘い……………6
- あの頃に戻ってみませんか……………6
- 平成14年度 英知大学同窓会 決算報告……………7
- ご寄付のお願い……………8
- 新役員紹介……………8
- 編集後記……………8

同窓会 会員の 皆様へ



会長 和田 隆

英知大学同窓会会員の皆様には益々活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、私は昨年度十一月三日の同窓会総会にて会長を仰せつかりました一九八〇年三月イスパニア文学科を卒業致しました和田 隆と申します。

私をはじめ新同窓会役員の皆様へのご挨拶が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

私共同窓会新役員一同は平成十五年十一月三日の総会にて野村前会長より英知大学同窓会の運営を引き継ぎましたことを改めてご報告致します。宜しくご支援のほどお願い申し上げます。

英知大学同窓会は平成十六年度を持ちまして会員数約九千名の大きな組織になりました。しかしながら、皆様への十分な活動が行えておりません。本来、大学と同窓生の架橋であるべき同窓会の活動

の一つであります会報の発行が、資金繰りが立たず発行できなかつたことには新旧両役員も深く反省し遺憾に思っております。

現在同窓会の資金は入会金の激減と年会費、終身会費の徴収不足により枯渇状況にあります事をご報告申し上げます。

しかしながら本年度より、入会金の徴収におきましては大学の協力を頂き在校四回生の皆様へ同窓会入会案内を大学の書簡に同封をさせて頂き入会金の納付のお願いをすることが出来ました。約二二〇名への納付依頼に対し八月現在で約六〇名の納付になっています。今後もし引き続き卒業生の方々には同窓会への入会及び入会金の納付をお願いしていく所存です。

同窓会の活動に關しましては、本執行部の活動方針として、

1、同窓会活動の充実
英知大学同窓会会員相互の親睦
同窓会組織の充実
(支部を含む)

2、活動費徴収の充実と徴収方法の確立
英知大学卒業生四〇周年
(二〇〇七年) 記念事業

3、同窓会と母校英知大学との関係強化、支援

4、その他
を主眼として執り行う所存です。

会員各位のご理解とご協力を重ね

てお願いいたします。

母校では昨年、設立四十年を迎え数々の記念行事が行われました。また、今後大きく英知大学が羽ばたく為に本年度より大学の改革に取り組まれ学科の再編をされました。詳細は大学のホームページをご覧ください。

同窓会も母校の発展を祈り協力支援を充実していく所存です。

更なる会員各位の同窓会へのご参加を切に希望すると共に執行部へのご参加、ご意見ご希望などを頂きたく重ねてお願い申し上げます。(役員としてお手伝いいただける方は是非ご連絡ください。オープンドアポリシーでお待ちしております。)最後に、今回の会報発行におきましては、英知大学より資金面でのご支援を頂き発行することが出来ました。関係各位には感謝の意を表し心からお礼を申し上げます。



品位と

風格のある

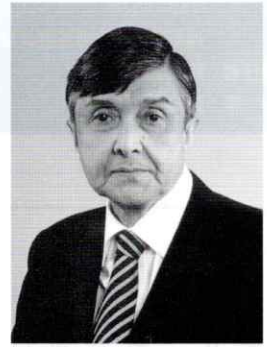
大学を目指して

学長 山田 利秋

最近の世の中は何かと騒がしいようです。とりわけ日本の教育問題、なかでも大学の二〇〇七年度問題を中心とする先行きの見通しについて、人々は危機感をあおり立てています。まことに見苦しい限りです。

社会の変化に大学が無関係でいられないのは事実です。ただ変化に対してひたすら受け身になり、迎合的姿勢をとるべきではありません。むしろ大学は変化に積極的に関わり、社会をリードするべきです。英知大学のように、神への信仰と人間愛を標榜する大学は、騒がしい時代だからこそ、いっそう泰然自若として、その存在感を世に示すべきなのです。

二〇〇四年四月、人間学科、英語英文学科、国際文化・言語学科の三学科で再出発した英知大学の改革は、創設期の原点に帰り、少数精鋭の密度の濃い教



育と、大学本来の使命である、「人間とは何か」の究極的問題の追究を行う意図に基づいたものに他なりません。

現在、英知のキャンパスは、次第に活気を取りもどしつつあります。大学祭の在り方をはじめとして、学生の間から建設的な提案が出されています。教職員も、一人ひとりの学生に対して、熱い目を向けています。卒業生も含めて、英知大学の構成員全員が自信を持ち、充実した学園を築いていけば、世の心ある人々はかならず評価してくれるのです。

われわれは、生き残りをかけてがんばる必要はありません。人間にとつてもっとも大切なことを世に伝える英知が衰退に向かうとするならば、それは社会と日本の衰退を意味するのではないのでしょうか。品位と風格のある英知大学の存続のために、母校を愛する卒業生の皆さんの絶大なご支援を心から願います。

祝 英知大学・開学四十周年



六八年英文卒 福原 宏章

開学四十周年おめでとう
ございます。

私が英文科の第一期生として入学したのが開学した翌年でしたので、来年は私が卒業して四十年になるわけなのです。入学時の学舎は正門入った右の四階建ての本館だけで、グラウンドは平地でしたが、石ころだらけでした。その南側は畑で、シスター達が鋤などを使って野菜をつくっていました。東側は、シスターや神父さま達の宿舎があり、今では想像もつかない田園的風景でした。新幹線やJR・阪

急の車窓から眺める「英知タワー」は大学の発展・成長ぶりを感じさせてくれます。何もなかった大学では、勉学に励んだというよりも、開拓者みだいに活動したこの方が思い出多い気がします。学生会を作り、体育局と文化局ができ、次々とクラブが誕生してゆきました。中でも、十一月三日に、今でも続けてられている「大

学祭」は一年中で最高・最大のイベントでした。最終の「ファイヤー」は時間の経つのを忘れさせるほど興奮しました。私は、体育局長・野球部・ボランティア研究会に所属しながらE.S.Sの小豆島合宿にも参加させてもらったりしました。教員資格を取るため、実習に仁川学院に行き可愛い中学生達に先生気分になったりしました。今は四十歳代で活躍されていることでしょう。

「光陰矢のごとし」といわれます。私も昨年九月で定年退職しました。幸い多くの後輩達が入社してくれており、退職祝の集いをしてくれました。彼達も事業の重要人材として頑張っています。その他、英知大学の卒業生の方々がいろいろな分野でご活躍されているお話を聞いたり、卒業生同士が結婚されて幸せなお姿を拝見していますと「英知大学で本当によかったなあ。」とつくづく思います。

開学四十年はまだまだ成長の節目の一つです。ますますのご発展を願ってやみません。同窓会の皆様のご健勝も併せてお祈りします。



SILEC UPDATE

Kathleen Yamane, Director

Greetings from the fifth floor! I am very happy to write this message to our Eichi graduates to bring everyone up to date with the activities of the Sapientia International Language Education Center. We had a busy first semester! In May, Eichi hosted a two-week program on Japanese language and culture for a group of students from Loras College, our sister school in Iowa. The five students stayed on campus with a group of Eichi students for the first week and then had a homestay. During their stay, they experienced a tea ceremony, flower arrangement and calligraphy lessons, and visits to Kyoto, Nara and Shigaraki. Everyone seemed to have a great time! Our professors, staff members and students warmly welcomed these visitors to the Eichi community. In July, we had the opportunity to host a second group of students, from our sister school in China. Fourteen students studying Japanese at University of Science and Technology of Suzhou were with us at the beginning of summer vacation. In addition to their language lessons, they enjoyed sightseeing in Kyoto and Kobe and a special visit to Matsushita Denki in Osaka. Their get-togethers with Eichi students as well as the special session with the Chinese students on campus were lively and animated. They worked hard to practice their Japanese while they were here.

This summer, Eichi students are all over the globe. Professor Stephen Ryan is leading a group of students to San Francisco and Loras College. Professor Tadashi Yamaguchi is taking a group to Leon, Spain. Smaller groups of students are also studying at our sister colleges in Suzhou, China and Angers, France. We all look forward to hearing their stories and seeing their pictures when they return to Japan later this month.

Our French assistant teacher, Emilie and our Spanish assistant, Andres, will be continuing with us next semester. We look forward to welcoming our new American assistant, Daniel, in late September. We now also offer two levels of Chinese conversation classes through SILEC, which have attracted many dedicated students of Chinese. We are pleased that so many Eichi students are taking advantage of this opportunity to practice languages with young native instructors. We will get to see the results of their study at the Spanish and French Recitation Contest and the English Speech Contest.

Any how about you? Let us tell you about some of the ways that SILEC can still be a part of your lives and your study plans!

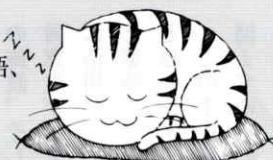
懐かしいキャンパスが皆さんをお待ちしています。

☆姉妹校からのネイティブアシスタント教員による英語、スペイン語、フランス語、中国語会話教室で語学力をブラッシュアップ!

☆学内TOEIC TEST! (年4回実施)

詳細は、英知大学ホームページ(<http://www.sapientia.ac.jp>)国際言語教育センターをご覧ください。なお、お問い合わせは、国際言語教育センターまで。

TEL : 06-6491-8599 FAX : 06-6491-5433 E-mail address : silec@sapientia.ac.jp



2004年4月に EICHI 新しい文学部が スタート

英知大学入試部

二〇〇三年六月十三日付で、学部学科設置の届出が文部科学省において受理され、人間と世界の理解をめざし、二〇〇四年四月から「英知」独自の文学部がスタートしました。

英知大学は一九六三年（昭和三十三年）四月にカトリック大坂大司教区立、英知大学神学部神学科として設立され、現在は文学部、神学科、英語英文学科、スペイン語スペイン文学科、フランス語フランス文学科と国際文化学科の五学科で構成されています。

昨年四十周年を迎えるにあたり、二〇〇四年四月から人間学科、英語英文学科と国際文化・言語学科として生まれ変わりました。本学は一貫してキリスト

教的人間観に基づいて、人格の尊厳と人間性の完成に重点をおいた教育理念に立ってまいりました。「いのち、言葉、文化」をキーワードとして人間とは、世界とは、を問い掛ける新たな学科構成として登場しました。幅広い見識と豊かな人間性を身につけ、社会に貢献できる人間の育成に力を注いでまいります。各学科の特徴を紹介いたします。

【人間学科】従来の神学科を母体として設立したもので、他大学のように経験科学を中心としたものではなく、宗教的、哲学的、文化的な角度から人間存在を問うという人間学をベースに展開しております。コースは二つで「キリスト教学コース」と「総合人間学コース」から構成されています。

【英語英文学科】生きた英語を習得し、英語圏の文化に親しみ文化、思想の深みに触れることにより、教養ある国際人の育成をめざしています。三年次からは、「英語学・コミュニケーションコース」と「英米文学・文化コース」のいずれかを選択して学習します。

【国際文化・言語学科】単に従来の国際文化学科とスペイン語スペイン文学科、フランス語フランス文学科が一学科にまとま

っただけのものではなく、それぞれの長所を生かしながら、言語の習得はもちろん、広範囲にわたる文化知識と普遍性の高い見地からみた人間文化の探求をめざしています。

今年改組二年目にあたり募集人員は二五〇名です。ご承知のとおり少子化、景気低迷による保護者の経済負担力の減少等非常に厳しい環境下において教職員一丸となって、定員の確保に努力しております。同窓会の皆様におかれましても、大学受験生をもつお知り合いの方々に本学の優れた教育方針をご紹介いただければ幸いと存じております。



多古

近頃、大学の意義についてあまり語られなくなった気がしますが、昔は在り来りたりの学部を揃えている大学がほとんどで、これに何の不満も疑問も抱いておりませんでした。そして現在、少子化が進み、いかに我が大学に学生を呼び込むか、各大学はオープンキャンパスなるものを華々しく開催し同時に色んな学部・学科を開設し、専門学校化の様相を呈し特色を出してきています。

で、英知大学の特色とは一体何と考えると……。今も昔もとても関西にあるとは思えない、商業主義とか資本主義とは無縁のはんなりと暖かい校風であると思います。が、そのまま学生が社会に出て、すぐに役に立つかと考えると、そうとはとても思えない気がします。まず第一に卒業されるときに「これから社会人の仲間入りをするんだ！」という気構えが出来ていない。給料をもらって社会に会社とその責任を果たす考えがほとんど無い？

フリーターや家事手伝いを職業と思ひ込んでいる若者たちが溢れている現状を見たり聞いたりにするにつけ、大学側が若者を入学させるためには必死になっているが、送り出す卒業時にどういう大人に育てて世に出すのかを考えなければならぬ時が来ているのではないかと。同窓生と連絡を密に取り、産・官・学が一体となり知恵を出し合って、大学を卒業するときには大人として社会に貢献できる、自分に責任が持てる、自分の足で立ち、自分の口で喋る、卒業生を送り出す事の出来る大学のみが生き残つていくと思います。ただ暖かいだけの校風の中では決して一人前の大人は育たないと思います。幸い英知には立派な図書館やコンピュータールーム、階段教室、体育館、食堂等の施設、そして九千名を超える同窓生がいます。これらをフルに活用していけば、きつときつと素晴らしい大学に成つてゆくとおもいます。

このまま知らず知らずの間に消えてゆくのか、力強く、素晴らしい若者を排出する大学として成つてゆくかは、教職員、在校生、そして同窓生が一体と成つての協力が不可欠だと思います。

転換期を迎える 就職課の役割と 機能について



英知大学 就職部就職課

(社会構造の変化)

進路を選択する上で、その背景となる個人の価値観の多様化、更には複雑かつ多様化する急激な社会構造の変化は、大学における就職部にまで至り、その役割及び機能において大きく転換せざるを得ない状況となっておりました。

出口と言われ続けてきた就職課は学生の就労意識の希薄化など、今や進路の選択肢の一部として社会的に定着しつつあるフリーターの問題は社会問題にまで発展し影響を与えようとしています。

(本学就職部について)

これらの状況を受け、本学就職部においても、単に進路の相談や企業へ入社するための通過点の支援から、就職や進路をキヤリアデザインまたはライフプランニングとし捉える視点に移行しつつあります。低学年より

学生自らキャリア・プランを検討し、自らの人生に対して信念に基づく目標の設定能力と時代のニーズを察知し自己革新させていく社会的適応能力の養成が不可欠と考えております。学生が自らの裁量で進路を選択・決定し自らの人生をマネージメント出来ることを最大の課題としてまた目的として、現在就職部として独自の年次別カリキュラム及びその内容について鋭意準備を進めております。

(同窓生の皆様へのお願い)

就職部の機能・役割はその時々
の背景を鑑み「幹旋」から「紹介」、「指導」、そして昨今では「支援」として捉えられてきました。しかし人生の主役はその人生を負う学生自身であることに気づくことからスタートします。就職部の支援は、スタッフだけで賄うことはできません。学生はもちろんのこと、大学教職員、保護者、そして社会でご活躍されておられる同窓生の皆様のご協力とご支援なくしてなし得ることは不可能です。

以上のような趣旨、目的をご理解いただき、本学就職部の役割・機能につきまして今後も更に一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます次第で



第四十回英知祭実行委員会実行委員長

吉本 篤史(英文四回生)

私が、英知祭の実行・運営に携わるのは、今年で三年目になります。一年目から広報局長を担当し、学祭を作り上げていく面白さを感じることができました。昨年度は、実行委員長を引き受けることになり、務まるものかと不安でしたが、自分なりに一生懸命やり、多くの方々にも助けられたおかげで、無事に学祭を終えることができました。そして、今年も引き続き実行委員長を任されることになりました。こういう機会を与えられたということは私にとって非常に素晴らしい経験を見せていただいたと思っています。

その中で、三年間学祭運営の中心メンバーとして行ってきた上で、私が英知祭に関して思ったことは、ほとんどの学生があまりにも学祭に関心がないのは何故なんだろうか、という点で

す。多くの学生が、一体いつ学祭があるのか、どんな企画を行うのかを全く知らなかったりもするので。

どうして皆、学校行事に関心をもたないのでしょうか。これは、やはり学祭等の宣伝不足が一つあるのではと思います。

みんなにより関心を持ってもらうには、しっかりとしたテーマを決めるべきだと思います。

昨年度は「つながり」というテーマでした。このテーマの通り、昨年度は大学職員の方々に多くのご指導をいただき、学生だけではなく、大学全体で学祭を進めることができました。これこそ、まさに人と人との「つながり」ではないでしょうか。こうしてテーマのとおり、多くの方々のごつながりのおかげで学祭を終えることができました。

そして、今年「華」がテーマです。多くの人と人の「つながり」がで上がったので、この「つながり」をもっと広め、より盛り上げて華々しくしたい、という願いを込めて、このテーマに決定しました。大学祭全体の見た目も華やかにしたいというところで、花を育てて大学中に花を飾りたいと思っています。まず一つ目の取り組みとして、学校全体に花を飾ろうという目

実行委員長に 大きな拍子を



「英知祭」に向けての文面からは吉本君の意気込みの全容はつかめないと思います。「品位と風格のある大学を目指して」の中で山田学長がお書きの「大学祭の在り方をはじめとして、学生の間から建設的な提案が出されています。」を加味してもなかなか類推できません。

さすがに三度も学祭に携わった吉本君。学祭に主役である学生の参加が少ない。教職員の方の参加も今ひとつ。こんな現状を打破しようと、渾身の一石を投じました。企画案を教授会に提出。尼崎市の外郭団体「森部会」と接触。地域の方を巻き込んで「学内華いっばい運動」で英知祭に花を添えようと奮闘中です。彼の努力に大きな拍手を送りましょう！

ホームカミングデー の誘い



今年もホームカミングデーが近づきました。昨年は開催中に大粒の雨に見舞われながらも賑やかに終わりました。ちょうど阪神タイガースの御堂筋パレードの日でした。

今年はどうなるのか、また楽しみます。

期日

平成十六年十一月三日(祝)

場所

英知大学内 コロクトリウム

時間

十二時より総会

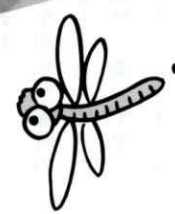
十三時よりホームカミングデー

会費

三、〇〇〇円

(年会費に充当)

なお、この日に同窓会を右記会場で行われた方は事前にお申し付け下さい。場所を設定させていただきます。



あの頃に戻って
みませんか



匿名子

昨年、社会人としてこの英知大学から巣立った人達、また、私と同じように二十余年前に同大学を卒業してそれぞれの社会で日々過ごされている方々。時期は違えど、四年の時を過ごした同じキャンパスに帰ってあの頃の少年少女に戻ってみませんか。

数年前のことです。毎年卒業二十五年というタイトル名で、集う場所を作るのですが、私が学生時代にお付き合いをしていた彼女とばったり再会。あの時あの場所です。どうしたとか、こうしたとか昔話をしていましたら、

とある昔の私達を知っている友人に「ご夫婦揃いで」と言われました。我々がそのままゴールインしていたと思っただけ。大きな勘違い！二人共顔を真っ赤にして大照れでした。

今の自分が在るのも英知大学

という場所で、先輩、同輩、後輩達との付き合いの中で、友達を探し、今の殺伐とした世の中を生きるうえでなくてはならない一生のお付き合いを共有する人達と出会えたからです。

北は北海道、南は九州熊本、はたまた海外と昔の仲間はずらばらですが、その人達が上阪する度ある恐い先輩の集合の命令が下ります。お互いの子供達をまじえた本心に心地よい時を過ごしています。あの時格好良かった先輩が禿でデブになって、でもそれはそれでよいのです。

昔を知っているから。それが同窓会です。あなた方も学生時代に憧れだった人に出会える機会として、偶然ではなく懐かしいキャンパスでホームカミングデーと一緒に過ごそうではありませんか。もしかしたら卒業してから一度も会ってなかった古き友が、新しい一生の友として、

これからのあなたと付き合い合っていくかもしれません。

今英知大学の同窓会として、また一卒業生としては、大学の存続が危ぶまれる中、自らの母校に対してこれからもいい意味でアプローチすると共に、後輩、そして未来の学生達にとつての場を守るため一人でも多く参加いただけることを願います。

平成14年度 英知大学同窓会 決算報告

(平成14年10月1日～平成15年3月31日) (単位:円)

【収入の部】	費 目	金 額	摘 要
	前年度繰越金	557,299	
	同窓会入金収入	20,000	同窓会入金収入
	同窓会会費収入	183,000	終身会費及び年会費収入
	名簿売上高	0	同窓会名簿売上高
	受取利息	10,915	預金利息及び貸付金利息
	雑収入	82,758	バザー売上他
	合 計	853,972	

【支出の部】	費 目	予 算	実 績	摘 要
	旅費交通費	150,000	0	関東支部交流他
	通信費	2,000,000	364,301	委任状郵送費他
	監査費	120,000	0	会計監査
	事務用品費	150,000	4,201	消耗品
	支払手数料	30,000	3,360	振込手数料他
	会議費	500,000	80,557	役員会議費(6回)
	事務局維持費	1,000,000	145,599	アルバイト代他(@830円×107,HCDアルバイト)
	印刷費	2,500,000	90,090	会報年2回・名簿追補版・案内状委任状他
	O B クラブ開催費	1,000,000	390,365	Home Coming Day及び総会
	助成金	500,000	60,000	助成金(実行部会・応援団)
	会費に関するシステム作成費	2,000,000	0	名簿調査
	献花費及び記念品費	100,000	61,338	卒業記念品代他(優秀学生表彰・卒業式献花)
	配付金	350,000	0	関東支部運営費
	雑費	100,000	1,008	写真代他
	予備費	2,333,865	0	次年度繰越金等
	合 計	12,833,865	1,200,819	

前年度繰越額	557,299
本年度収入額	296,673
本年度支出額	1,200,819
次年度繰越額	-346,847

財 産 目 録

(平成15年3月31日現在)

(単位:円)

【資産の部】	現金及び預金	現 金	本 部	現 金	385,304
			事 務 局	現 金	3,302
			合	計	388,606
		普通預金	三井住友銀行/園田支店 No.3928064		493
			三井住友銀行/園田支店 No.4053087		23,963
			三井住友銀行/園田支店 No.4503805		1,166
			三井住友銀行/難波支店 No.6386541		463
		合	計		26,085
【負債の部】	未収入金		高橋 玲子 貸付返済滞り額		458,462
			資 産 の 部 合 計		873,153
	未払入金		監 査 費 (森 会 計)		120,000
	借入金		英 知 大 学		1,100,000
			負 債 の 部 合 計		1,220,000
【次期繰越金】					-346,847

(注) 大学側と決算時期を合わせるために半年間の決算です。今回のみレギュラーと成っております。

入会金

終身会費

年会費

ご寄付のお願い

英知大学同窓会 会計

七三年西文科卒 藤本 滝三

平素は同窓会活動にご協力を頂き、誠に有り難うございます。昨年は同窓会活動資金の枯渇により充分な活動も、在校生へのご支援も、そして会報発行さえもできませんでした事を深くお詫び申し上げます。

今年には四回生からの同窓会入会金の徴収に大学側からご配慮を賜り、授業料請求の際の封筒に入会金のお願ひ状を一緒に同封していただける事となり、少しずつではありますが、正常化に向かいつつあります。が、何分にも約四年間の未収入期間があり、事務局自体が事実上休止状態にあります。この弱体化した同窓会の建て直しが、一番の先決問題かと思われま

す。昨年十一月三日の総会時に新しい役員が誕生し、心機一転この困難に立ち向かう所存で

ございます。

毎年の新卒生が二百余名（その中でも入会金の徴収率は年々悪くなる一途です）、そして同窓会全体で九千余名にもなり、この数字から見ましても活動の難しさがご理解いただけるものと思ひます。阪神大震災の折には行方不明者、被災者の方々の割り出し作業の実施、被災された方々へのお見舞金の配布、大学への寄付（校舎修復のため）をさせて頂いたり、毎年留学される方々への支援、資金難のために卒業できない学生たちへの支援、優秀学生達、大学祭実行委員会への助成金、就職課とタイアップして就職活動への支援、年二回の会報発行に各クラブ活動への支援等々をすべて同窓会入会金、年会費、終身会費で賄ってききました。そこへ突然の同窓会入会金の徴収方法の変更で、四年間の未徴収期間があり、現在に至っております。

誠に不躰だとは思ひますが、この紙面をお借りしまして、同窓会入会金未納の方、終身会費及び年会費の未納の方々に是非ともご入金をたまわりますようお願い申しあげます。

又、この窮状をお察しいただき、ご寄付をたまわりましたら大変助かります。この厳しい時

節柄、誠に勝手なことばかりで申し訳ございませんが呉々もよろしく重ねてお願いいたします。

同窓会入会金	二〇、〇〇〇円
終身会費	三〇、〇〇〇円
年会費	三、〇〇〇円
ご寄付	随意

（年会費十回支払いで終身会費に充当）

《お問い合わせ先》

英知大学同窓会事務局
TEL 〇六一六四九一六二五八
(ファックスも同じ番号)

事務局員不在の場合はファックスにて、ご要点をお知らせ下さい。後日、こちらからご連絡申し上げます。

《お振り込み先》

英知大学同窓会 会長 和田 隆
三井住友銀行 園田支店
普通預金 四〇五三〇八七

なお、今年も十一月三日（祝）に恒例のホームカミングデーが実施されます。そのときに会費として三、〇〇〇円を徴収させて頂きますが、この費用は年会費として登録させて頂きます。ご理解とご協力をお願い致します。

新役員紹介

同窓会会長

和田 隆（八〇年西文科卒）

副会長

泉 啓太（七六年仏文科卒）

会計

地村 昭彦（八九年仏文科卒）

会計監査

澤田 夕生（八五年西文科卒）

常任幹事

藤本 滝三（七三年西文科卒）

稲田 新平（七〇年英文科卒）

岡崎 臣博（八〇年英文科卒）

野村 裕（七四年英文科卒）

島田 稔（八〇年英文科卒）

篠原 一夫（七八年西文科卒）

吉田 宏司（七八年英文科卒）

米田 桂宏（八九年西文科卒）

坂本 昇次（七九年英文科卒）

田中 秀典（七九年仏文科卒）

永富 康人（九七年西文科卒）

事務局補佐
藤本すみ子（七一年英文科卒）

編集後記

星野監督じゃあないですが、この会報が出来上がると同時に「ああしんどかった」というのが実感でした。ひさしぶりの会報発行であれもこれも記事にしようと考えたままでは良かったのですが、原稿を依頼し締め切り期限が来て、集まったのは学長の挨拶文だけで他は全くと言っていいほど集まりませんでした。いつもの事とは言いなが、今年も台風と地震が多かったせいかとも思ったりしています。あとはこの会報を皆様方

へお送りするための資金をどこから集めようかと...

まだまだ「ああ、しんどかった」は結果的に締め切りをヶ月半ずらしましたが、紙面から溢れ出るばかりの原稿をいただきました。

お忙しい中、英知のためにまだにお骨折り頂き、ご寄稿して下さいました方々に、深く、深く感謝いたしております。本当に有り難うございました。

